

【書写】

書 写

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい書写 一・二・三年
15	三 省 堂	現代の書写 一・二・三
17	教 出	中学書写
38	光 村	中学書写 一・二・三年

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	単元ごとの目標の示し方と目標の数
		②	姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方の写真・イラスト等
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	学習過程の示し方と構成、示し方の特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	④	単元・教材や資料等の配列	総ページ数、毛筆教材数及び毛筆教材例、硬筆記入欄のページ数
		⑤	伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元名等、ページ数及び内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑥	配色、レイアウト等表現・表記の工夫	筆使い、紙面構成等の示し方、デジタルコンテンツの扱い
(オ)	言語活動の充実	⑦	学習や日常生活に生きる言語活動の工夫	教科の学習や日常生活に生かす単元等及び教材

【書写】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	単元ごとの目標の示し方と目標の数

第1学年「行書」				
	単元	毛筆の教材	上段：目標の示し方 下段：目標の例	目標の数
東書	行書の書き方を学ぼう	「二」「十」「口」「人」「日光」「大空」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」と明記して、小单元ごとに目標を示している。 ○ 「行書を書くときの特徴的な動きを理解して書こう。」 ○ 「点画の連続について、書く動きと連続の仕方を理解して書こう。」 	3
三省堂	行書	「名月」「元気」「探究」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標を確かめよう」のマークを小单元の最初のページに提示し、小单元ごとに、そのマークの下に目標を示している。 ○ 「行書の特徴を理解できる。」 ○ 「点画の丸みを理解して書くことができる。」 	4
教出	行書で書いてみよう	「大」「大木」「栄光」「平和」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」と明記して、小单元ごとに目標を示している。 ○ 「楷書と行書の違いを理解しよう。」 ○ 「点画の連続と形の変化を理解して書こう。」 	5
光村	読みやすく速く書くための行書	「一」「二」「口」「大」「大木」「北西」「月光」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」と明記して、小单元ごとに目標を示している。 ○ 「行書の特徴を知り、筆使いを理解して書こう。」 ○ 「点画の変化を理解して、行書で書こう。」 	2

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方
方法	正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方の写真・イラスト等

正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方の写真・イラスト等			ページ数
東書	写真	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字を整えて書くための姿勢（姿勢のチェック欄、毛筆、硬筆） ○ 用具の名前・置き方 ○ 書きやすい鉛筆の持ち方 ○ 書きやすい筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法・懸腕法、小筆：提腕法・枕腕法） ○ 後かたづけ（大筆、小筆、硯） 	2
	写真・イラスト	○ 墨のすり方	
三省堂	写真	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢と構え方（毛筆：懸腕法、硬筆） ○ 大筆の持ち方（双鉤法・単鉤法）、小筆の持ち方・構え方（提腕法・枕腕法） ○ 用具の扱い方（用具の準備・墨のすり方・用具の片づけ方） ○ 鉛筆の持ち方 	5
	イラスト等	○ 筆の運び方（筆圧・穂先・軸の傾き・腕の動き）と「筆脈を意識しよう」	
教出	写真	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本の姿勢（大筆：懸腕法） ○ 用具の置き方 ○ 毛筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：枕腕法・提腕法） ○ 硬筆の持ち方（鉛筆・ボールペン） ○ 墨のすり方 ○ 後片づけ 	2
光村	写真	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書くときの姿勢（大筆、姿勢のチェック欄） ○ 用具の準備 ○ 筆記具の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：提腕法・枕腕法、鉛筆） ○ 用具の片付け（大筆、小筆、硯） 	2

【書写】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	学習過程の示し方と構成、示し方の特徴

	学習過程の示し方と構成	示し方の特徴
東 書	<p>「書写の学習の進め方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標を確かめて、学習の見通しを持つ。 ○ 見つけよう <ul style="list-style-type: none"> ・ふだん書いている硬筆の文字から、文字を整えて書くための「書写のかぎ」を見つけよう。 ○ 確かめよう <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆や硬筆で書いて、「書写のかぎ」を確かめよう。 ○ 生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・学習した「書写のかぎ」をほかの文字にも生かそう。 ○ 振り返って話そう <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返って、目標を達成できたか評価しよう。 ・「書写のかぎ」や書写の用語を使って、学んだことを説明しよう。 ○ 生活に広げよう <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを、教科の学習や日常生活に広げよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「書写で学ぶこと」では、3年間で、何を、どのように学び、学んだことがどのような場面で役立つのかを示している。 ○ 「書写の学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示している。 ○ 「書写のかぎ」では、文字を正しく書くためのポイントを掲載し、教材文字の左に「書写のかぎ」を示している。 ○ 「見つけよう」では、ふだん書いている硬筆文字から課題について考えさせている。 ○ 「振り返って話そう」では、学んだことを説明する活動を示している。 ○ 「生かそう」や「生活に広げよう」では、学んだことを他の文字や生活の中で生かすための活動などを示している。
三省 堂	<p>「学習の流れ」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 目標を確かめよう <ul style="list-style-type: none"> ・目標を確かめて学習の見通しをもつ。 ② 書き方を学ぼう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方のポイントをつかむ。 ③ 見つけよう・考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方のポイントが、他の文字ではどこに使われているか考える。 ④ 毛筆で書こう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方のポイントを意識して毛筆で書く。 ⑤ 学習を振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・教材で学んだことを振り返る。 ⑥ 書いて身につけよう <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆で繰り返し書いて、学びを確かなものにする。 ⑦ 自分の言葉でまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して学んだことが実際に活用できているかを確認し、自分の言葉でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「この教科書で学ぶ皆さんへ」では、自分の文字をよりよくするための「単元の基本構成」を示している。 ○ 「学習の流れ」では、基本となる学習の流れを示している。 ○ 「書き方を学ぼう」を基に、「見つけよう・考えよう」では、書き方のポイントが、文字のどこに使われているか考えさせている。 ○ 単元末の「自分の言葉でまとめよう」の「振り返ろう」では、学んだことが実際に活用できているかを確認し、「自分が学んだことを書き残そう。」では、学んだことを自分の言葉でまとめるように示している。

【書写】

<p>教 出</p>	<p>「学習の進め方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標を確かめよう。 ・試し書き ○ 考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・試し書きと教科書の文字とを比べ、自分の課題を見つけよう。 ・自分の課題に向かって、毛筆で練習しよう。 ○ 生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆で学習したことを、硬筆で他の文字に生かして書こう。 ・まとめとして硬筆や毛筆で書き、試し書きと比べてみよう。 ○ 振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・課題が解決できたかどうかを自己評価し、学習を振り返ろう。 ○ 学習や日常生活に生かそう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「書写をとおして学んでいくこと」では、何を、どのように学び、身に付けた力がどのように広がるのかを示している。 ○ 「学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。 ○ 「考えよう」では、課題を発見し、課題を解決していく学び方や話し合い活動を通じた学び方を示している。 ○ 「振り返ろう」では、評価の観点を示し、その観点到に沿って「できた＝○」、「もう少し＝△」で自己評価を記入する欄が記載されている。
<p>光 村</p>	<p>「学習の進め方」 見通しをもって、学習・活動に取り組もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・課題について考えよう。 ・「学習の窓」で、文字の整え方を確かめよう。 ② 確かめよう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方を確かめて、毛筆で書こう。 ③ 生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを、生かして書こう。 ○ 学習を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・目標が達成できたか評価しよう。 ・「書写ブック」で練習しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「三年間の目標」を示している。 ○ 「学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。 ○ 「考えよう」では、課題について考えたり話し合ったりする活動を示している。 ○ 「学習を振り返る」では、評価の観点を示し、観点到に沿って自己評価を記入する欄が記載されている。

【書写】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	④単元・教材や資料等の配列
方法	総ページ数，毛筆教材数及び毛筆教材例，硬筆記入欄のページ数

	学年	総ページ数 (※は、複数学年を示す ページ含む)	毛筆教材数	第1学年の毛筆教材例	硬筆記入欄の ページ数
東 書	1	44 + 巻末折込 1	13	「大志」「平仮名」「夏山の緑うつりし小窓かな」「二」「十」「口」「人」「日光」「大空」「夢の実現」「温故知新」「美しい緑」「早春」	19
	2	30 + 巻末折込 1	9		12
	3	18 + 巻末折込 1	5		1
	資料編等	38 + 巻末折込 1			書写活用ブック 2
三省堂	1	36 + 巻末折込 1	8	「天地」「いろは歌(仮名)」「暑き日を海に入れたり最上川」「名月」「元気」「探究」「日進月歩」「輝く生命」	13
	2	22 + 巻末折込 1	8		7
	3	9 + 巻末折込 1	3		0
	資料編等	47 + 巻末折込 1	12		
教 出	1	44 + 巻末折込 1	10	「天地」「成功」「いろは歌」「いろは歌(仮名)」「大」「大木」「栄光」「平和」「新たな決意」「世界遺産」	12
	2	32 + 巻末折込 1	9		11
	3	13 + 巻末折込 1	7		3
	資料編等	41 + 巻末折込 1	13		
光 村	1	29※ + 巻末折込 1	15	「天地」「春風」「いろは歌(仮名)」「夏の夜やちぎれちぎれの天の川」「一」「二」「口」「大」「大木」「北西」「月光」「不言実行(楷書, 行書)」「文武両道」「将来の夢」	7 + 書写ブック 9
	2	27※ + 巻末折込 1	8		5 + 書写ブック 8
	3	19※ + 巻末折込 1	5		4 + 書写ブック 4
	資料編等	41 + 巻末折込 1 (※書写ブックは除く)			※ 上記の他に, 「書写ブック」1 ～3年生として2 ページ, 2～3年 生として2ページ 掲載がある。

【書写】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元名等，ページ数及び内容の扱い

	学年	単元名等	ページ数	内容の扱い
東書	1	○ 楷書の書き方を確かめよう「仮名の書き方と字形」	2	○ 平仮名の成り立ちを扱っている。
		○ 文字のいづみ「いろは歌」	1	○ 平安時代から伝わる「いろは歌」として扱っている。
		○ 文字のいづみ「文字の成り立ちと移り変わり」	2	○ 文字の変遷を扱っている。扱っている。
		○ 文字のいづみ「伝統的な用具・用材」	2	○ 文房四宝を扱っている。
		○ 文字のいづみ「書き初めをしよう」	1	○ 書き初めを扱っている。
		○ 文字のいづみ「書いて味わおう『竹取物語』」	1	○ 「竹取物語」を扱っている。
	2	○ 行書と仮名を交えて書こう「行書に調和する仮名」	3	○ 平仮名の成り立ちを扱っている。
		○ 文字のいづみ「文字と絵」	1	○ 江戸時代の文字絵を扱っている。
		○ 文字のいづみ「手書きと文字の活字」	2	○ 明朝体の始まりを扱っている。
		○ 文字のいづみ「書き初めをしよう」	1	○ 書き初めの広まりを扱っている。
3	○ 文字のいづみ「書いて味わおう『平家物語』」	1	○ 「平家物語を」を扱っている。	
	○ 効果的に文字を書こう「現代につながる文字の役割」	2	○ 時代ごとの文字の役割を扱っている。	
	○ 文字のいづみ「書き初めをしよう」	1	○ 書き初めとどんど焼きを扱っている。	
	○ 文字のいづみ「古典をもとに」	2	○ 高等学校の内容として書の古典を扱っている。	
	○ 文字のいづみ「書いて味わおう『おくのほそ道』」	1	○ 「おくのほそ道」を扱っている。	
三省堂	1	○ 文字のいづみ「二十四節気と季節の挨拶」	4	○ 二十四節気と季節の挨拶を扱っている。
		○ 書くことを楽しむ 日本の文字文化，世界の文字文化	1	○ 日本や世界の文字文化を扱っている。
		○ 楷書と仮名「仮名の字形と筆使い」	2	○ 平仮名の発生，「いろは歌」を扱っている。
	2	○ 仮名の字形／文字の大きさと配列	1	○ 「竹取物語」を取り扱っている。
		○ 学びを広げる「文字の変遷」	2	○ 5つの書体を扱っている。
	3	○ 行書と仮名「行書に調和する仮名」	4	○ 行書として「いろは歌」「枕草子」を扱っている。
		○ 身のまわりの文字	2	○ 文字文化としての文字の変遷を扱っている。
資料編	○ 発展「書の古典」	1	○ 高等学校の内容として，王羲之と光明皇后の書を扱っている。	
	○ 書写の広場「文房四宝」	2	○ 毛筆道具と進化する筆記具の変遷を扱っている。	

【書写】

教 出	1	○ コラム「筆、墨、硯、紙について知ろう」	2	○ 文房四宝を扱っている。
		○ 楷書と仮名を調和させて書こう「楷書に調和する仮名『いろは歌』」	2	○ 仮名の成立として「いろは歌」を扱っている。
		○ 楷書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書くー行の中心ー」	2	○ 「竹取物語」を扱っている。
		○ コラム「文字の変遷」	2	○ 文字の変遷について扱っている。
		○ 「行書学習のはじめに」	2	○ 行書の起源と平安時代の空海の手紙を扱っている。
	2	○ コラム「あの人が残した文字」	2	○ 日本の歴史上の人物の書や手紙等を扱っている。
		○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう「行書に調和する仮名『いろは歌』」「気持ちのつながりから文字のつながりへ」	2	○ 「いろは歌」について扱うとともに、高等学校の内容として、平安時代の「連綿」を扱っている。
		○ コラム「短冊と色紙」	1	○ 平安時代や江戸時代の「懐紙」「色紙」「短冊」を扱っている。
		○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう「学習を生かして書くー行書と仮名の調和と配列」	4	○ 「枕草子」「平家物語」を扱っている。
3	○ コラム「日本建築と『書』」	2	○ 高等学校の内容として「書院造り」を扱っている。	
	○ コラム「書の古典の鑑賞」	1	○ 高等学校の内容として、書風を扱っている。	
	○ 行書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書くー配列ー」	2	○ 「おくのほそ道」を扱っている。	
光 村	1	○ 巻末「芸術としての書道」	1	○ 高等学校の内容として、古典文学を扱っている。
		○ 楷書に調和する仮名	2	○ 楷書として「いろは歌」を扱っている。
		○ コラム「文字の歴史を探る」	2	○ 5つの書体について扱っている。
	2	○ 季節のしおり 1	2	○ 古典や短歌・俳句を扱っている。
		○ 行書に調和する仮名	2	○ 行書として「いろは歌」を扱っている。
		○ コラム「物語を千年書き継ぐ」	2	○ 「源氏物語」を扱っている。
	3	○ 季節のしおり 2	2	○ 「枕草子」を扱っている。
		○ 季節のしおり 3	2	○ 古典や短歌・俳句を扱っている。
		○ 「なりきり、書聖・王羲之」	1	○ 高等学校の内容として、王羲之の書を扱っている。

【書写】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑥配色, レイアウト等表現・表記の工夫
方法	筆使い, 紙面構成等の示し方, デジタルコンテンツの扱い

第1学年「行書 点画の変化」		デジタルコンテンツの扱い	
	筆使い	紙面構成等の示し方	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「確かめよう」では, 筆脈を点線で示している。 ○ 朱墨で筆使いを示し, ポイントとなるところに, 「四つの動き」を示すアイコンで筆使いを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・右ページに学習のポイントを示し, 左ページに半紙形の紙面で教材文字を示している。 ○ 「見つけよう」には, 楷書と行書を並べて示している。教材文字の下に書き込み欄を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Dマーク」 ・目次にあるURLや該当箇所 のQRコードからコンテンツ にアクセスできる。 ・該当する目次と該当箇所には には, 「Dマーク」を示してい る。 ・1年: 11教材, 2年: 8教材, 3年: 5教材, 書写ブック: 4箇所
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書き方を学ぼう」では, 筆脈を青の矢印や点線で示 し, 言葉で解説している。 ○ 行書の文字(朱墨)と, 楷 書(黒字)の文字を並べて示 している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・右ページに書き方のポイント を示し, 左ページに半紙形の 紙面で教材文字を示してい る。 ○ 「書き方を学ぼう」では, 楷書と行書で書かれた文字を 上下に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「二次元コード」 ・「基礎編」「学習のはじめに」 にある二次元コードからコン テンツにアクセスできる。 ・毛筆の姿勢と構え方, 大筆の 持ち方, 小筆の持ち方・構え 方, 筆の運び方, 用具の扱い 方, 硬筆の姿勢と構え方, 鉛 筆の持ち方について掲載して いる。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」では, 筆順と 筆脈を矢印や点線で示し, 言 葉で解説している。 ○ 朱墨で筆使いを示し, ポイ ントとなるところに, 「変化」 を示すアイコンと写真で筆使 い示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・左ページにポイントを示し, 右ページに半紙形の紙面で教 材文字を示している ○ 「試し書き」では, 楷書で 字形を確認し, その下に行書 で書く欄がある。 ○ 半紙形の紙面には, 青色の 中心線が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「まなびリンク」 ・目次及び裏表紙にあるURL と該当箇所の二次元コードか らコンテンツにアクセスでき る。 ・該当する箇所には, 「まなびリ ンク」マークを示している。 ・1年: 7箇所, 2年: 5箇所, 3年: 3箇所, 補充教材集: 1箇所
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「②確かめよう」では, 朱 墨で筆使いを示し, ポイント となるところに, 写真と言葉 で筆使いを示している。 ○ 半紙原寸大の教材文字の横 に, 朱墨と薄墨で筆使いを示 している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4ページ <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで, 学習の進 め方を示している。 ・見開き2ページで, 半紙原寸 大の教材文字を示している。 ○ 「①考えよう」では, 楷書 と行書を左右に並べて示して いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「二次元コード」 ・巻頭の「さあ, 書こう」及び 裏表紙に二次元コードの説明 があり, コンテンツにアクセ スできる。 ・該当する箇所には, 二次元コー ドを示している。 ・1年: 15教材, 2年: 10教材, 3年: 7教材, 補助教材: 10 箇所

【書写】

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑦学習や日常生活に生きる言語活動の工夫
方法	教科の学習や日常生活に生かす単元等及び教材

	学年	単元等	教材
東 書	1	○ 生活に広げよう ○ 文字のいずみ	「案内の手紙を書こう」「年賀状を書こう」「職場訪問をしよう」 「文字の成り立ちと移り変わり」「書き初めをしよう」 「書いて味わおう『竹取物語』」
	2	○ 生活に広げよう ○ 文字のいずみ ○ 楷書と行書を選んで書こう	「本のポップを書こう」「防災訓練に参加しよう」 「手書き文字と活字」「書き初めをしよう」 「書いて味わおう『平家物語』」 「楷書と行書の使い分け」「場面や目的に応じた書き方」
	3	○ 効果的に文字を書こう ○ 文字のいずみ	「身の回りの文字の目的と工夫」「手書き文字の特徴」「書き手の意図と表現」「現代につながる文字の役割」 「仕事の中の手書き文字」「書き初めをしよう」「古典をもとに」「書いて味わおう『おくのほそ道』」「二十四節気と季節の挨拶」
	資料編	○ 生活に広げよう ○ さまざまな書式	「思いを文字で表そう」 「手紙」「新聞」「リーフレット」「ポスター」「フリップ」 「レポート」「原稿用紙」「そのほかの書式 - 入学願書、複写式の用紙、往復はがき、のし袋、簡潔な手紙、電子メール」
三省 堂	1	○ 書いて身につけよう ○ やってみよう ○ 書き初め	「字形の整え方(点画の組み立て・部分の組み立て・外形)」「仮名の字形/文字の大きさと配列」「点画の丸み/点画の連続/点画の形や方向の変化」 「グループ新聞を作ろう」 「日進月歩」「輝く生命」
	2	○ 書いて身につけよう ○ 楷書と行書 ○ やってみよう ○ 書き初め	「点画の省略/筆順の変化」「行書と仮名の調和/行書に調和する仮名」 「楷書と行書の使い分け」 「情報誌を作ろう」 「燃ゆる思い」「大望を抱く」「温故知新」「平和の鐘」
	3	○ 文字文化の豊かさ ○ やってみよう ○ 書き初め	「身のまわりの文字」 「名言集を作ろう」 「旅立ちの時」「山光澄我心」
	資料編	○ 日常の書式	「便箋と封筒の書き方」「はがきの書き方」「時候の挨拶・頭語と結語」「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」

【書写】

教 出	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容を効果的にノートに書こう ○ 楷書で書こう ○ 楷書と仮名を調和させて書こう ○ コラム ○ 行書で書いてみよう ○ 書き初めを書く 	<p>「学習内容を効果的にノートに書こう」</p> <p>「学習を生かして書くー字形、筆順ー」 「学習を生かして書くー行の中心ー」「学習を生かして書くー配列ー『校庭の植物観察をレポートにまとめる』『手紙を書く』『学校生活に生かして書く『お薦めの本の帯やポップを作る』『ポスターを書く（ポスターセッション用）』」 「季節の行事と書写」「暮らしの文字を支える人々」 「行書学習のはじめに」「学習を生かして書くー行書の特徴ー」 「新たな決意」「世界遺産」</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行書で書こう ○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう ○ 学習活動や日常生活に生かして書こう ○ 書き初めを書く 	<p>「学習を生かして書くー行書の特徴ー」 「文字の大きさと配列」「書く速さを意識して書くー行書と仮名の調和ー」「学習を生かして書くー行書と仮名の調和と配列ー」 「さまざまな書く場面」（授業中、学習発表会、学級活動、手紙を書く） 「学習を活かして書く」（新聞を書く、掲示物（ポスター）に案内を書く、案内状を書く） 「生命の尊重」「伝統の継承」</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行書と仮名を調和させて書こう ○ 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう ○ 書き初めを書く 	<p>「学習を生かして書くー配列ー」</p> <p>「多様な表現による文字」「三年間の学習の成果を生かそう」（メッセージカード、未来の自分への手紙） 「友好の精神」「真理の探究」</p>
	資料編	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書式の教室 ○ 情報を整理して、活動につなげよう 	<p>「手紙の書き方」「一筆箋の書き方」「封筒の書き方」「年賀状の書き方」「はがきの書き方」「往復はがきの書き方」「包み紙の書き方」「エアメールの書き方」「原稿用紙の書き方」「小包伝票の書き方」「願書の書き方」「志願理由の書き方」 「課題を設定する」「解決方法を計画する」「情報を比較する」「事柄を推論する」「材料を整理して案内文を書く」</p>
光 村	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【学校生活】 目標を書こう ○ 【国語】 季節のしおり 1 ○ 書き初め 	<p>「学級スローガン」「個人目標」 俳句・短歌等 「不言実行」「文武両道」「将来の夢」</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【国語・学校生活】 行書を活用しよう ○ 【国語】 壁新聞を作ろう ○ やってみよう「デザインと文字」を考えよう ○ 楷書と行書の使い分け ○ 【国語】 季節のしおり 2 ○ 書き初め 	<p>「本の帯」「立て看板」「ノート」「応援旗」「メモ」「一筆箋」「名前」 壁新聞 文字のデザイン 「インタビューメモ」「入学願書」 「枕草子」 「新たな目標」「大志を抱く」</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国文字マップ ○ 文字の使い分け ○ コラム ○ 私の好きな言葉 ○ 【国語】 季節のしおり 3 ○ 冊子にまとめよう ○ 書き初め 	<p>「全国文字マップ」 「新聞」「パンフレット」「看板」 「UD書体って何だろう」 好きな言葉を書く 俳句・短歌等 「冊子」 「旅立ちの春」「伝統を守る」</p>
	資料編	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常に役立つ書式 ○ 【日常生活】 	<p>「手紙の書き方（縦書き、横書き）」「はがきの書き方」 「入学願書の書き方」「送り状の書き方」「原稿用紙の書き方」 「年賀状を書こう」</p> <p style="text-align: right;">（※書写ブックは除く）</p>